

平成 24 年 3 月 21 日

【照会先】

大臣官房統計情報部

社会統計課縦断調査室

室 長 福元 俊成(内線 7571)

室長補佐 相原 陽二(内線 7593)

成年者調査係 (内線 7592)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2322

## 第 9 回 2 1 世紀成年者縦断調査

### (国民の生活に関する継続調査) の概況

#### 目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 結婚の状況	
1 この 8 年間の結婚の状況	3
2 所得額別にみた状況	4
3 初職別にみた状況	5
II 夫婦における子どもの出生の状況	
1 この 8 年間の出生の状況	6
2 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況	7
III 就業の状況	
1 就業の変化	8
2 結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の状況	9
3 女性の育児休業制度利用後の就業の状況	10
4 出産後の就業継続意欲別にみた妻の就業継続の状況	11
IV 子ども観	
1 結婚・出生の状況別にみたこの 8 年間の子ども観の変化	12
参考	14
用語の定義	17

第 9 回 2 1 世紀成年者縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。  
アドレス ( <http://www.mhlw.go.jp/toukei/index.html> )



## 8 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりである。

なお、本概況における集計客体数とは、調査客体となつて以降、継続して集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
男性票	7,093	5,855	4,984
女性票	7,962	7,021	6,039
配偶者票（男性用）	2,507	2,239	1,393
配偶者票（女性用）	1,348	1,184	647
計	18,910	16,299	13,063

(参考) 第1回からの調査客体数と回収客体数（男性票、女性票）

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回	20～34歳	33,689	27,893	82.8%
第2回	21～35歳	29,683	24,393	82.2%
第3回	22～36歳	25,330	21,563	85.1%
第4回	23～37歳	22,425	19,716	87.9%
第5回	24～38歳	20,204	17,990	89.0%
第6回	25～39歳	18,281	16,444	90.0%
第7回	26～40歳	16,793	15,337	91.3%
第8回	27～41歳	15,870	14,659	92.4%
第9回	28～42歳	15,055	12,876	85.5%

## 9 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
---------	---

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。

# 結果の概要

## I 結婚の状況

### 1 この8年間の結婚の状況

第1回調査（20～34歳）時の独身者のうち、この8年間で結婚した割合は、男女とも第1回の年齢が25～29歳の階級が最も高い。

第1回の独身者のうち、男性はこの1年間で3.7%が結婚し、この8年間で結婚したのは35.0%となった。女性はこの1年間で5.3%が結婚し、この8年間では44.5%となった。男女とも、第1回の年齢が25～29歳の階級が結婚した割合が最も高く、男性39.8%、女性48.2%となっている。（表1、図1）

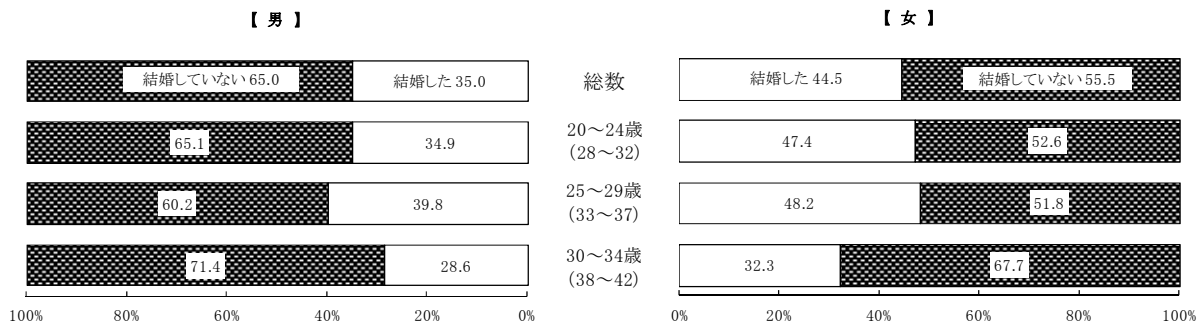
表1 性、年齢階級別にみたこの8年間の結婚の状況

(単位：%)

		第1回調査時の配偶者の有無			この8年間の結婚の状況			
		総数	配偶者あり	配偶者なし	結婚した	第8回調査から第9回調査間	結婚していない	
第1回調査時の年齢階級 ( )内は第9回調査時	男	(100.0)	100.0	37.9	61.1	21.3	2.2	39.7
	20～24歳 (28～32)	(24.8)	100.0	5.3	93.5	32.6	4.6	60.9
	25～29歳 (33～37)	(32.2)	100.0	31.4	67.4	26.8	2.7	40.5
	30～34歳 (38～42)	(43.0)	100.0	61.5	37.6	10.7	0.5	26.9
	女	(100.0)	100.0	44.7	54.4	24.2	2.9	30.2
	20～24歳 (28～32)	(26.4)	100.0	6.3	92.8	44.0	7.6	48.8
	25～29歳 (33～37)	(31.7)	100.0	40.8	58.5	28.2	1.8	30.3
	30～34歳 (38～42)	(41.9)	100.0	71.9	27.0	8.7	0.7	18.3

- 注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。  
 2) 「結婚した」には、この8年間に結婚した後離婚した者を含む。  
 3) 第1回調査時の配偶者の有無の総数には、配偶者有無の不詳を含む。  
 4) [ ]内は、第1回調査時に配偶者なしであった者を総数としたこの8年間の結婚の状況の割合である。  
 5) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図1 性、年齢階級別にみた独身者のこの8年間の結婚の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
 2) 「結婚した」には、この8年間に結婚した後離婚した者を含む。  
 3) 年齢は第1回調査時の年齢である。( )内は第9回調査時の年齢である。

## 2 所得額別にみた状況

### 男女ともに、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。

第3回の独身者について、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第8回調査時の所得額階級別に、この6年間の結婚の状況をみた。

男女ともに、「400万円以上500万円未満」で、「結婚した」の割合が最も高く、所得額が高くなるほど、結婚の割合が高くなる傾向がある。特に、男性では、最も低い「100万円未満」で12.1%、最も高い「400万円以上500万円未満」で39.8%と、27.7ポイントの差がある。(表2、図2)

表2 性、所得額階級別にみたこの6年間の結婚の状況

(単位：%)

		男			女				
		総数	結婚した	結婚していない	総数	結婚した	結婚していない		
所得額	総数	(100.0)	100.0	28.7	71.3	(100.0)	100.0	36.8	63.2
	100万円未満	(11.1)	100.0	12.1	87.9	(11.2)	100.0	26.5	73.5
	100万円以上200万円未満	(9.2)	100.0	18.3	81.7	(20.1)	100.0	35.6	64.4
	200万円以上300万円未満	(20.5)	100.0	24.4	75.6	(29.4)	100.0	38.5	61.5
	300万円以上400万円未満	(24.7)	100.0	32.5	67.5	(19.8)	100.0	41.4	58.6
	400万円以上500万円未満	(14.5)	100.0	39.8	60.2	(7.7)	100.0	42.5	57.5
	500万円以上	(12.6)	100.0	35.3	64.7	(5.4)	100.0	32.9	67.1

注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答し、第3回調査時に独身の者である。

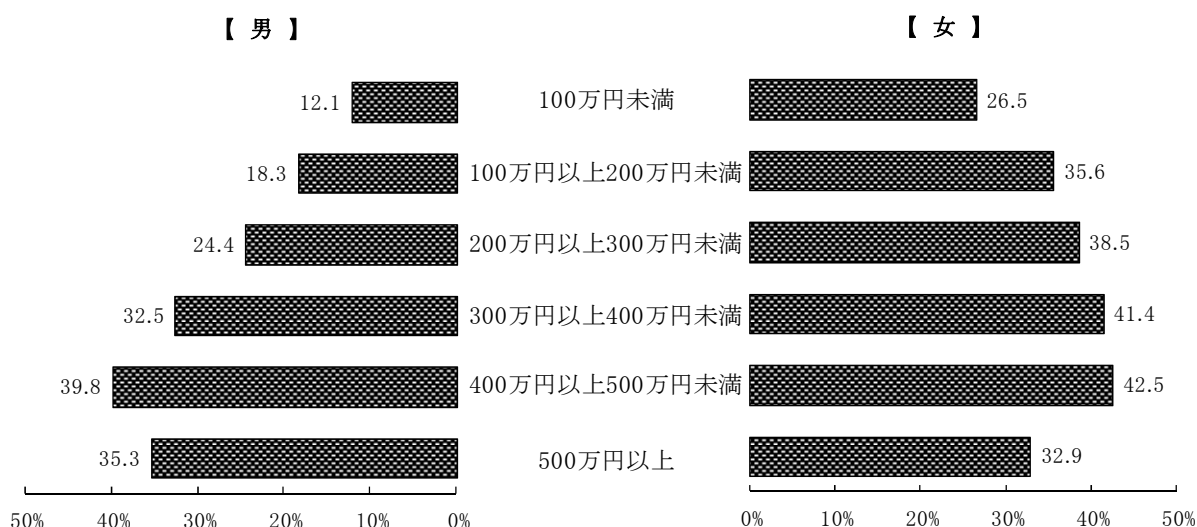
2) 所得額は、「結婚した」は結婚前調査時の、「結婚していない」は第8回調査時の状況である。

3) 「結婚した」には、この6年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを、総数には所得不詳を含む。

図2 性、所得額階級別にみたこの6年間に結婚した割合



注：1) 集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答し、第3回調査時に独身の者である。

2) 所得額は、結婚前調査時の状況である。

3) 「結婚した」には、この6年間に結婚した後離婚した者を含む。

4) 6年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

5) 所得額の「100万円未満」には所得なしを含む。

### 3 初職別にみた状況

男女ともに、初職で正規の仕事をしている者のほうが、今回調査時までに結婚を経験する割合が高い。

第1回から第9回まで回答した者について、初職の就業形態の正規・非正規別に、第9回調査時までの結婚経験の状況をみると、男性は「初職が正規」で「結婚経験あり」は66.7%、「初職が非正規」で「結婚経験あり」は40.5%となっている。女性は「初職が正規」で「結婚経験あり」は74.7%、「初職が非正規」で「結婚経験あり」は59.4%となっている。(表3、図3)

表3 性、年齢階級、初職の就業形態別にみた第9回調査時までの結婚経験の状況

(単位：%)

	男				女					
	総数	結婚経験あり	結婚経験なし	不詳	総数	結婚経験あり	結婚経験なし	不詳		
総数	(100.0)	100.0	61.9	37.2	0.9	(100.0)	100.0	70.7	28.6	0.7
30歳以下	(10.5)	100.0	36.8	61.9	1.3	(12.4)	100.0	47.9	51.7	0.4
31～35歳	(28.3)	100.0	51.2	48.0	0.9	(28.7)	100.0	62.6	36.8	0.6
36歳以上	(61.2)	100.0	71.1	28.1	0.8	(58.9)	100.0	79.5	19.7	0.8
(再掲)初職が正規	(100.0)	100.0	66.7	32.4	0.9	(100.0)	100.0	74.7	24.7	0.6
30歳以下	(8.2)	100.0	44.5	54.7	0.8	(10.0)	100.0	53.1	46.7	0.2
31～35歳	(26.2)	100.0	55.6	43.3	1.1	(26.2)	100.0	65.5	33.7	0.7
36歳以上	(65.6)	100.0	73.8	25.3	0.9	(63.8)	100.0	81.9	17.6	0.5
(再掲)初職が非正規	(100.0)	100.0	40.5	58.5	0.9	(100.0)	100.0	59.4	39.8	0.8
30歳以下	(21.0)	100.0	26.1	72.5	1.4	(20.3)	100.0	39.4	59.7	0.9
31～35歳	(37.8)	100.0	35.1	64.5	0.4	(36.3)	100.0	55.6	44.2	0.3
36歳以上	(41.2)	100.0	53.0	45.9	1.1	(43.4)	100.0	71.9	26.8	1.3

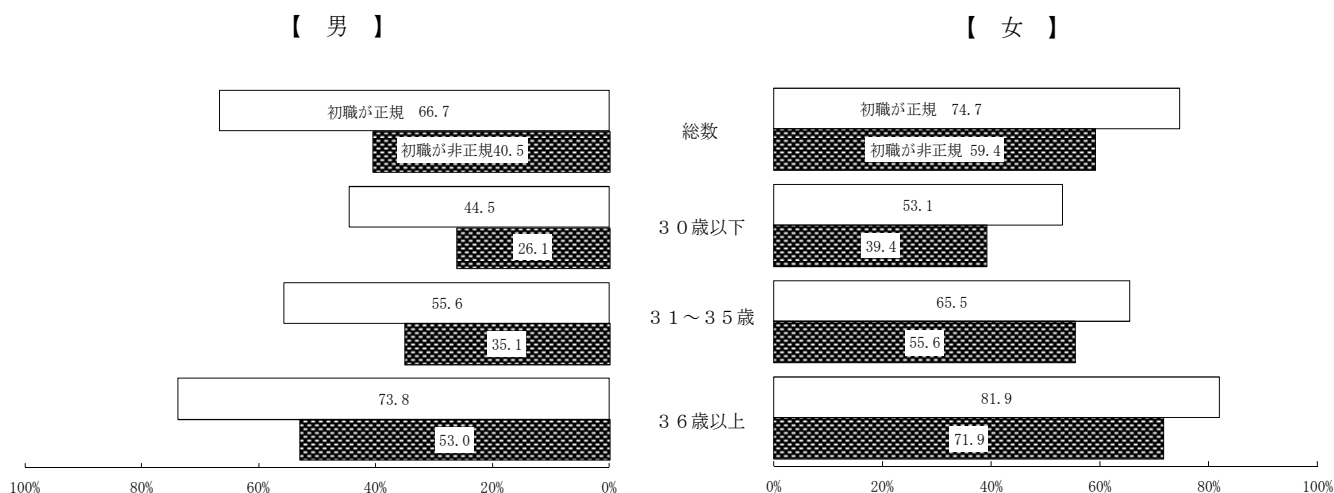
注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。

ただし、第2回調査時の初職の就業継続の状況が不詳の者、及び第2回調査時までに仕事についていない者を除く。

2)第1回調査時に離婚・死別経験がある独身者であり、その後第9回調査時までに結婚をしていない者は結婚経験ありには含まれない。

3)年齢は、第9回調査時の年齢である。

図3 性、年齢階級、初職の正規・非正規別にみた第9回調査時までの結婚経験の割合



注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。

ただし、第2回調査時の初職の就業継続の状況が不詳の者、及び第2回調査時までに仕事についていない者を除く。

2)第1回調査時に離婚・死別経験がある独身者であり、その後第9回調査時までに結婚をしていない者は結婚経験ありには含まれない。

3)年齢は、第9回調査時の年齢である。

## II 夫婦における子どもの出生の状況

### 1 この8年間の出生の状況

#### この8年間に、50.1%の夫婦に子どもが生まれた。

この8年間に、第1回からの夫婦の40.2%、第2回からの夫婦の86.7%、第3回からの夫婦の84.9%、第4回からの夫婦の86.3%、第5回からの夫婦の78.7%、第6回からの夫婦の66.5%、第7回からの夫婦の46.6%、第8回からの夫婦の22.9%に子どもが生まれた（表4、図4）。

表4 夫婦となった時点別にみたこの8年間の出生の状況

		総数	この8年間に出生あり					この8年間に出生なし	
			総数	第1子	第2子	第3子以降	(再掲) 第8回調査から第9回調査間に出生		
夫婦となった時点	総数	(100.0)	100.0	50.1	15.3	23.5	11.3	7.6	49.9
	第1回調査からの夫婦	(64.8)	100.0	40.2	4.6	20.4	15.2	1.9	59.8
	第2回調査 "	(4.5)	100.0	86.7	25.9	52.5	8.2	11.4	13.3
	第3回調査 "	(5.1)	100.0	84.9	28.5	45.8	10.6	12.3	15.1
	第4回調査 "	(6.0)	100.0	86.3	34.1	45.5	6.6	15.2	13.7
	第5回調査 "	(4.8)	100.0	78.7	42.0	35.5	1.2	18.3	21.3
	第6回調査 "	(5.3)	100.0	66.5	46.8	18.6	1.1	26.6	33.5
	第7回調査 "	(5.0)	100.0	46.6	43.8	2.8	-	20.5	53.4
	第8回調査 "	(4.5)	100.0	22.9	22.3	0.6	-	22.9	77.1

注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

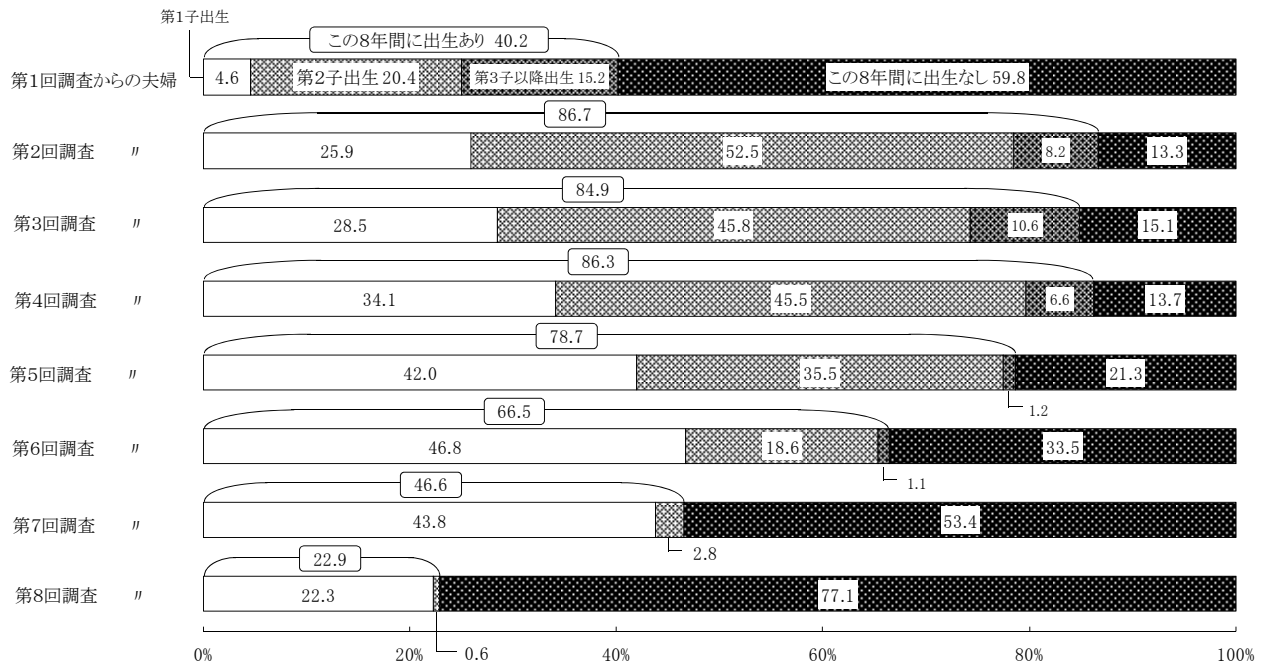
② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

2) 「第1回調査からの夫婦」には、調査開始以前からの夫婦を含む。

3) 「この8年間に出生あり」及び「この8年間に出生なし」とは、夫婦として回答したそれぞれの回以降の出生の状況である。

4) この8年間に2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

図4 夫婦となった時点別にみたこの8年間の出生の状況



注：1) 集計対象は、①または②に該当する夫婦である。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

2) 「第1回調査からの夫婦」には、調査開始以前からの夫婦を含む。

3) 「この8年間に出生あり」及び「この8年間に出生なし」とは、夫婦として回答したそれぞれの回以降の出生の状況である。

4) この8年間に2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

## 2 夫の休日の家事・育児時間別にみた状況

**子どもがいる夫婦は、夫の休日の家事・育児時間が長くなるほど、第2子以降の生まれる割合が高くなる傾向がある。**

夫婦について、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の夫の休日の家事・育児時間別に、この8年間の出生の状況をみた。

子ども1人の夫婦では、「家事・育児時間なし」で23.7%、「6時間以上」で85.5%に第2子が生まれている。(表5)

また、子どもがいる夫婦全体でみると、「家事・育児時間なし」で9.9%、「6時間以上」で67.4%に第2子以降が生まれており、家事・育児時間が長いほど子どもが生まれている割合が高くなる傾向がある(図5)。

表5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の出生の状況

		総数			子どもなしの夫婦			子ども1人の夫婦			子ども2人以上の夫婦			
		総数	出生あり	出生なし	総数	第1子出生あり	出生なし	総数	第2子出生あり	出生なし	総数	第3子以降出生あり	出生なし	
夫の休日の家事・育児時間	総数	(100.0)	100.0	47.1	52.9	100.0	46.3	53.7	100.0	73.6	26.4	100.0	27.1	72.9
	家事・育児時間なし	(8.4)	100.0	29.5	70.5	100.0	46.2	53.8	100.0	23.7	76.3	100.0	3.6	96.4
	2時間未満	(33.9)	100.0	35.8	64.2	100.0	46.3	53.7	100.0	51.1	48.9	100.0	12.7	87.3
	2時間以上4時間未満	(20.2)	100.0	47.9	52.1	100.0	47.2	52.8	100.0	75.6	24.4	100.0	25.9	74.1
	4時間以上6時間未満	(13.7)	100.0	54.3	45.7	100.0	37.5	62.5	100.0	80.4	19.6	100.0	32.6	67.4
	6時間以上	(20.9)	100.0	67.4	32.6	100.0	75.0	25.0	100.0	85.5	14.5	100.0	48.1	51.9

注:1) 集計対象は、①または②に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

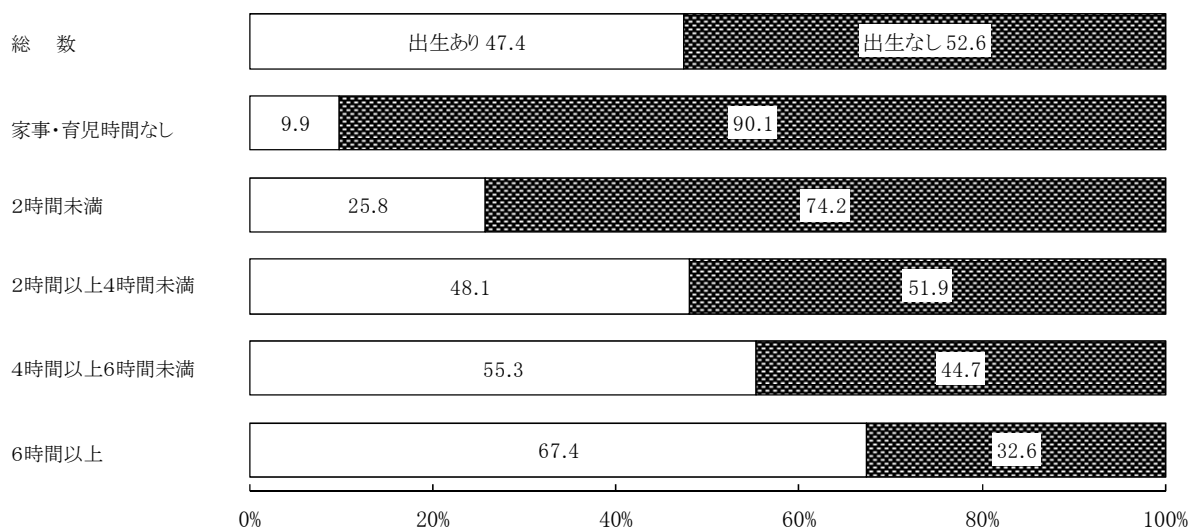
2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

3) 「子どもなしの夫婦」「子ども1人の夫婦」「子ども2人以上の夫婦」は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

4) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

5) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

図5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況



注:1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦

② 第1回調査時に独身で第8回調査までの間に結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦

③ 出生前調査時に、子ども1人以上ありの夫婦

2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第8回調査時の状況である。

3) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。



### Ⅲ 就業の状況

#### 1 就業の変化

第1回調査（20～34歳）時に正規の仕事をしている者のうち、男性79.8%、女性54.8%が第9回調査（28～42歳）時も正規の仕事をしている。

第1回が「仕事あり」の者について、就業形態の正規・非正規別でみると、第1回と第9回が「正規」の者の割合は、男性は79.8%、女性は54.8%となっている（表6）。

第1回に「非正規」だった者の第9回就業形態をみると、第9回に「正規」となっているのは、男性38.5%、女性15.0%となっており、男女とも年齢が低いほど「正規」になっている割合が高くなる傾向がある（図6）。

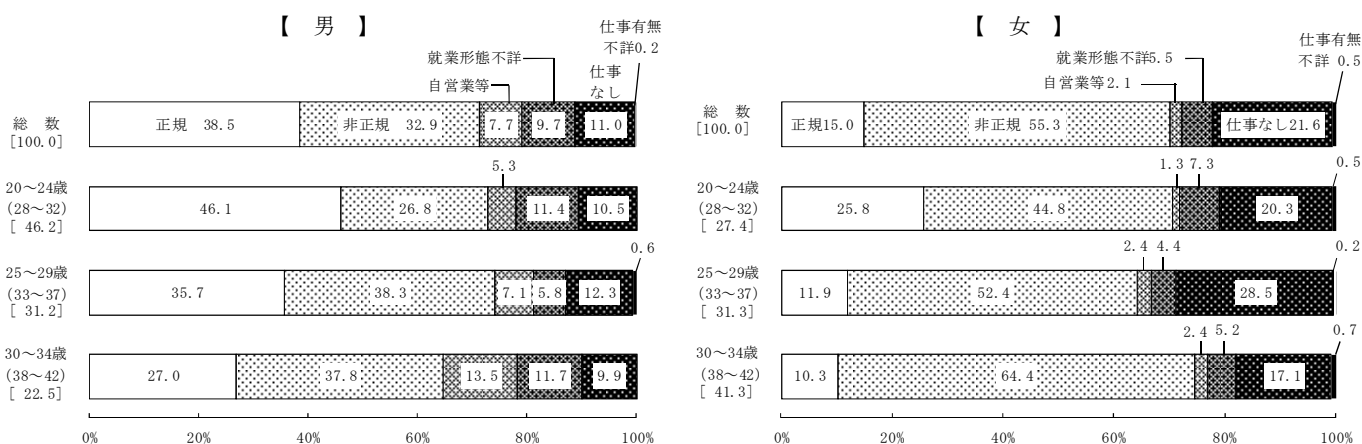
表6 性、第1回調査時の仕事の有無別にみた第9回調査時の仕事の有無

（単位：％）

		第9回調査時の仕事の有無、（再掲）正規・非正規					
		総数	仕事あり	（再掲）		仕事なし	
				正規	非正規		
第1回調査時 （再掲）正規・非正規 の仕事の有無、	男	(100.0)	100.0	93.6	63.2	9.5	6.0
	仕事あり	(88.4)	100.0	96.3	66.4	8.5	3.3
	（再掲）正規	(62.1)	100.0	97.3	79.8	4.8	2.4
	（再掲）非正規	(10.4)	100.0	88.8	38.5	32.9	11.0
	仕事なし	(8.9)	100.0	70.9	36.9	16.8	29.1
	女	(100.0)	100.0	71.7	27.3	33.8	28.0
	仕事あり	(66.8)	100.0	79.2	36.1	31.5	20.6
	（再掲）正規	(34.1)	100.0	79.3	54.8	16.4	20.7
	（再掲）非正規	(24.7)	100.0	77.9	15.0	55.3	21.6
	仕事なし	(31.7)	100.0	56.2	8.4	38.9	43.5

注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。ただし、第2回調査時に主に通学している者を除く。  
2)男、女には、仕事の有無不詳を含む。

図6 性、年齢階級別にみた第1回調査時に非正規だった者の第9回調査時の就業形態の変化



注：1)集計対象は、第1回調査から第9回調査まで回答した者である。ただし、第2回調査時に主に通学している者を除く。  
2)年齢は、第1回調査時の年齢である。（ ）内は第9回調査時の年齢である。

## 2 結婚後の就業継続意欲別にみた女性の就業継続の状況

結婚した後も現在の仕事を続けると考えていた場合、正規では 81.6%が結婚後も同一就業を継続している。

第1回の独身者のうち、この8年間に結婚し、結婚前に仕事をしてきた女性について結婚後の就業継続意欲別に結婚後の就業継続の状況をみると、現在の仕事を「結婚した後も続ける」と回答したもののうち 72.0%が同一就業を継続している。(表7)

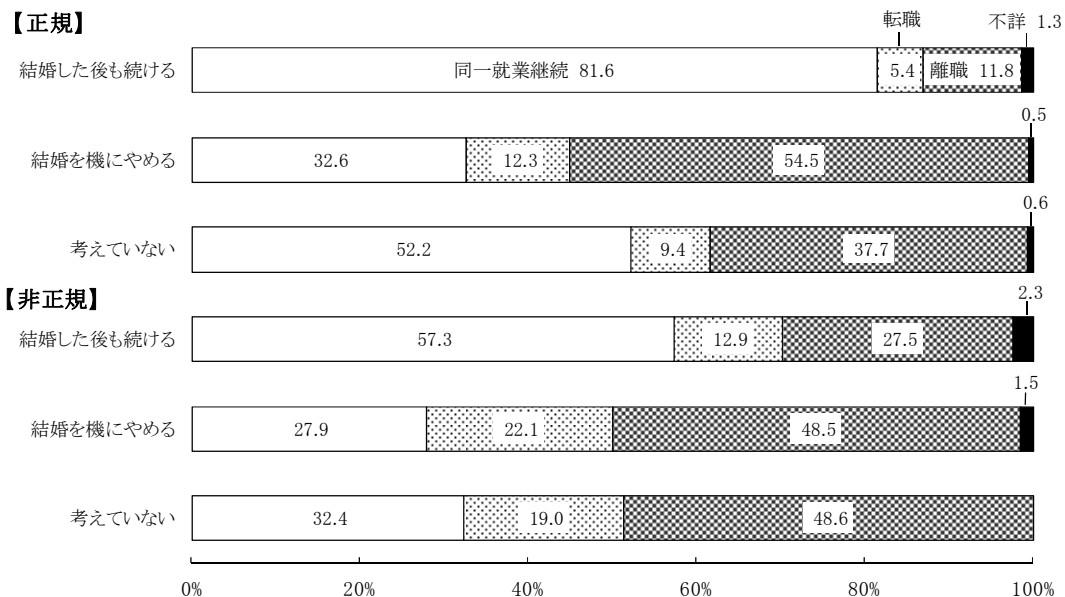
また、就業形態別にみると、「正規」では 81.6%、「非正規」では 57.3%が同一就業を継続している(図7)。

表7 結婚後の就業継続意欲、就業形態別にみた結婚した女性の就業継続の状況

		総数	同一就業継続	転職			離職	不詳	
				総数	(再掲)				
					(再掲)正規へ	(再掲)非正規へ			
結婚後の就業継続意欲・非正規	総数	(100.0)	100.0	57.0	10.0	2.0	6.9	28.8	4.3
	結婚した後も続ける	(54.2)	100.0	72.0	7.5	1.7	4.9	15.1	5.4
	結婚を機にやめる	(20.7)	100.0	31.8	14.4	2.7	10.6	52.7	1.1
	考えていない	(22.2)	100.0	42.2	12.4	2.5	8.5	40.8	4.6
	(再掲)正規	(100.0)	100.0	64.9	7.7	1.4	4.9	26.4	1.0
	結婚した後も続ける	(56.3)	100.0	81.6	5.4	1.3	3.0	11.8	1.3
	結婚を機にやめる	(22.5)	100.0	32.6	12.3	2.1	8.6	54.5	0.5
	考えていない	(19.2)	100.0	52.2	9.4	1.3	6.3	37.7	0.6
	(再掲)非正規	(100.0)	100.0	45.1	16.2	3.1	12.5	37.3	1.4
	結婚した後も続ける	(47.6)	100.0	57.3	12.9	1.8	10.5	27.5	2.3
	結婚を機にやめる	(18.9)	100.0	27.9	22.1	4.4	17.6	48.5	1.5
	考えていない	(29.2)	100.0	32.4	19.0	4.8	13.3	48.6	-

- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答し、この8年間に結婚し、結婚前調査時に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。  
 2) 結婚後の就業継続意欲は、第1回調査から第4回調査までに結婚した者は第1回調査時の、第5回調査から第7回調査までに結婚した者は第4回調査時の、第8回調査から第9回調査までに結婚した者は第7回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に仕事あり以外、及び結婚意欲が絶対したくないの者を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、結婚前調査時の状況である。  
 4) 総数には、結婚後の就業継続意欲不詳を含む。  
 5) 8年間で2回以上結婚している場合、最初の結婚の状況について計上している。

図7 結婚後の就業継続意欲、就業形態の正規・非正規別にみた結婚した女性の就業継続の状況



- 注：1) 集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答し、この8年間に結婚し、結婚前調査時に仕事ありの女性である。ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く。  
 2) 結婚後の就業継続意欲は、第1回調査から第4回調査までに結婚した者は第1回調査時の、第5回調査から第7回調査までに結婚した者は第4回調査時の、第8回調査から第9回調査までに結婚した者は第7回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に仕事あり以外、及び結婚意欲が絶対したくないの者を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、結婚前調査時の状況である。  
 4) 8年間で2回以上結婚している場合、最初の結婚の状況について計上している。

### 3 女性の育児休業制度利用後の就業の状況

**女性の育児休業制度利用者のうち、育児休業制度利用3年後に仕事ありの者は88.0%。育児休業制度利用時に正規であった場合、その割合は89.5%と高くなっている。**

第2回から第6回までに育児休業制度を利用した仕事ありの女性について、育児休業制度利用3年後の就業状況をみると、88.0%が「仕事あり」、そのうち「正規」が60.4%、「非正規」が19.0%であり、「仕事なし」は12.0%となっている。また、育児休業制度利用時に「正規」だった者の育児休業制度利用3年後の就業状況をみると、89.5%が「仕事あり」、そのうち「正規」が80.9%、「非正規」が6.0%であり、「仕事なし」は10.5%となっている（表8、図8）。

表8 仕事ありの女性の育児休業制度利用時の就業形態別にみた育児休業制度利用3年後の就業状況

(単位：%)

		育児休業制度利用3年後							
		総数	仕事あり					仕事なし	
			総数	正規	非正規	自営業等	就業形態不詳		
育児休業制度利用時	仕事あり	(100.0)	100.0	88.0	60.4	19.0	6.3	2.3	12.0
	(再掲) 正規	(69.5)	100.0	89.5	80.9	6.0	1.5	1.1	10.5
	(再掲) 非正規	(19.0)	100.0	82.2	6.8	69.9	2.7	2.7	17.8

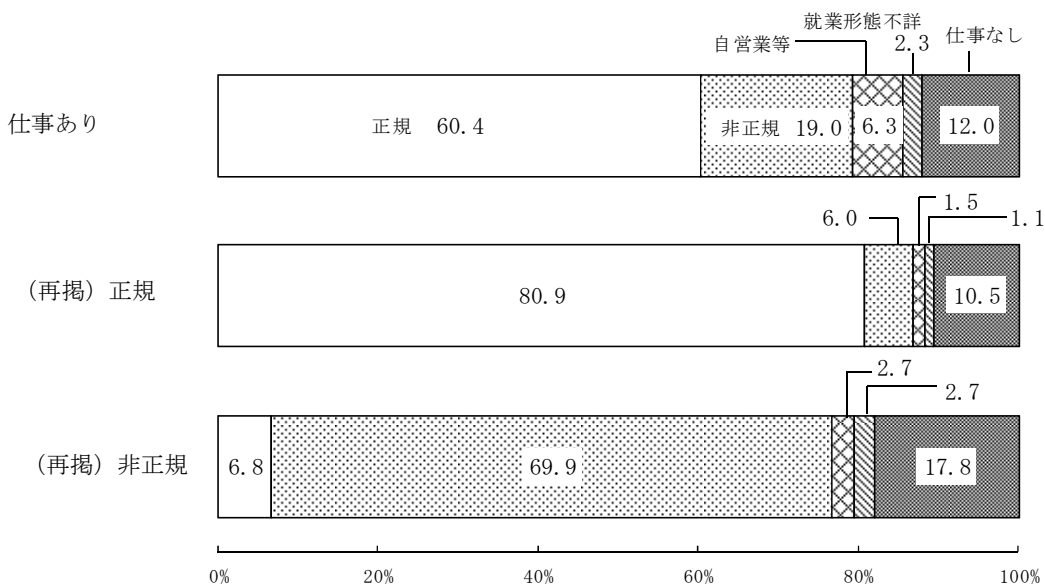
注：1) 集計対象は、①かつ②に該当する第2回調査から第6回調査までに育児休業制度を利用した女性である。

① 第1回調査から第9回調査まで回答した者

② 各回調査時前年11月から調査時前月までの1年間に育児休業制度を利用した者

2) 4年間で2回以上育児休業制度利用の場合は、最初の利用について計上している。

図8 仕事ありの女性の育児休業制度利用時の就業形態別にみた育児休業制度利用3年後の就業状況



注：1) 集計対象は、①かつ②に該当する第2回調査から第6回調査までに育児休業制度を利用した女性である。

① 第1回調査から第9回調査まで回答した者

② 各回調査時前年11月から調査時前月までの1年間に育児休業制度を利用した者

2) 4年間で2回以上育児休業制度利用の場合は、最初の利用について計上している。

#### 4 出産後の就業継続意欲別にみた妻の就業継続の状況

出産した後も現在の仕事を続けると考えていた場合、正規では 85.6%が出産後も同一就業を継続している。

夫婦のうち、この 8 年間に出産し、出産前に仕事をしてきた妻について出産後の就業継続意欲別に、出産後の就業継続の状況をみると、現在の仕事を「出産した後も続ける」と回答したもののうち 77.4%が同一就業を継続している。(表 9)

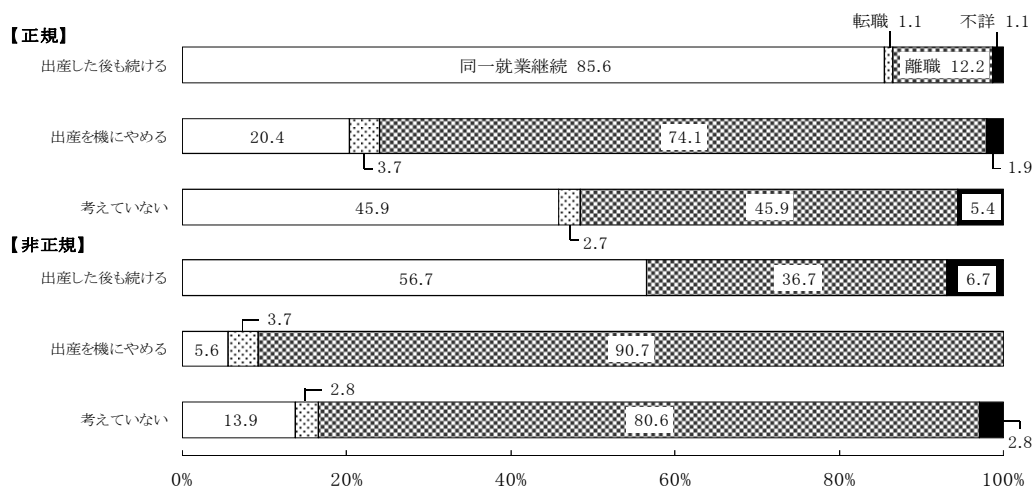
また、就業形態別にみると、「正規」では 85.6%が同一就業を継続している(図 9)。

表 9 出産後の就業継続意欲、就業形態別にみた出産した妻の就業継続の状況

		(単位：%)					
		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
(再掲) 出産後の就業継続意欲、 出産前の正規・非正規	総数	(100.0)	100.0	43.5	2.1	50.9	3.6
	出産した後も続ける	(39.3)	100.0	77.4	0.8	18.0	3.8
	出産を機にやめる	(32.5)	100.0	12.7	3.6	81.8	1.8
	考えていない	(22.8)	100.0	31.2	2.6	61.0	5.2
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	57.7	2.1	38.1	2.1
	出産した後も続ける	(47.6)	100.0	85.6	1.1	12.2	1.1
	出産を機にやめる	(28.6)	100.0	20.4	3.7	74.1	1.9
	考えていない	(19.6)	100.0	45.9	2.7	45.9	5.4
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	19.5	2.3	75.0	3.1
	出産した後も続ける	(23.4)	100.0	56.7	-	36.7	6.7
	出産を機にやめる	(42.2)	100.0	5.6	3.7	90.7	-
	考えていない	(28.1)	100.0	13.9	2.8	80.6	2.8

- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③④に該当するこの 8 年間に子どもが生まれた同居夫婦である。  
 ①第 1 回調査から第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ②第 1 回調査時に独身で第 8 回調査までの間に結婚し、結婚後第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ③第 1 回調査時に子どもなしの夫婦  
 ④出産前調査時に妻が仕事ありであった夫婦  
 2) 出産後の就業継続意欲は、第 1 回調査から第 4 回調査までに出産した者は第 1 回調査時の、第 5 回調査から第 7 回調査までに出産した者は第 4 回調査時の、第 8 回調査から第 9 回調査までに出産した者は第 7 回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に妻が仕事あり以外、及び妻の子どもをもつ意欲が絶対欲しくないの夫婦を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、出産前調査時の状況である。  
 4) 総数には、出産後の就業継続意欲不詳を含む。  
 5) 8 年間で 2 人以上出生ありの場合は、第 1 子について計上している。

図 9 出産後の就業継続意欲、就業形態の正規・非正規別にみた出産した妻の就業継続の状況



- 注：1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③④に該当するこの 8 年間に子どもが生まれた同居夫婦である。  
 ①第 1 回調査から第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ②第 1 回調査時に独身で第 8 回調査までの間に結婚し、結婚後第 9 回調査まで双方が回答した夫婦  
 ③第 1 回調査時に子どもなしの夫婦  
 ④出産前調査時に妻が仕事ありであった夫婦  
 2) 出産後の就業継続意欲は、第 1 回調査から第 4 回調査までに出産した者は第 1 回調査時の、第 5 回調査から第 7 回調査までに出産した者は第 4 回調査時の、第 8 回調査から第 9 回調査までに出産した者は第 7 回調査時の状況である。  
 また、上記就業継続意欲の該当調査回に妻が仕事あり以外、及び妻の子どもをもつ意欲が絶対欲しくないの夫婦を除く。  
 3) 「正規」「非正規」は、出産前調査時の状況である。  
 4) 8 年間で 2 人以上出生ありの場合は、第 1 子について計上している。

## IV 子ども観

### 1 結婚・出生の状況別にみたこの8年間の子ども観の変化

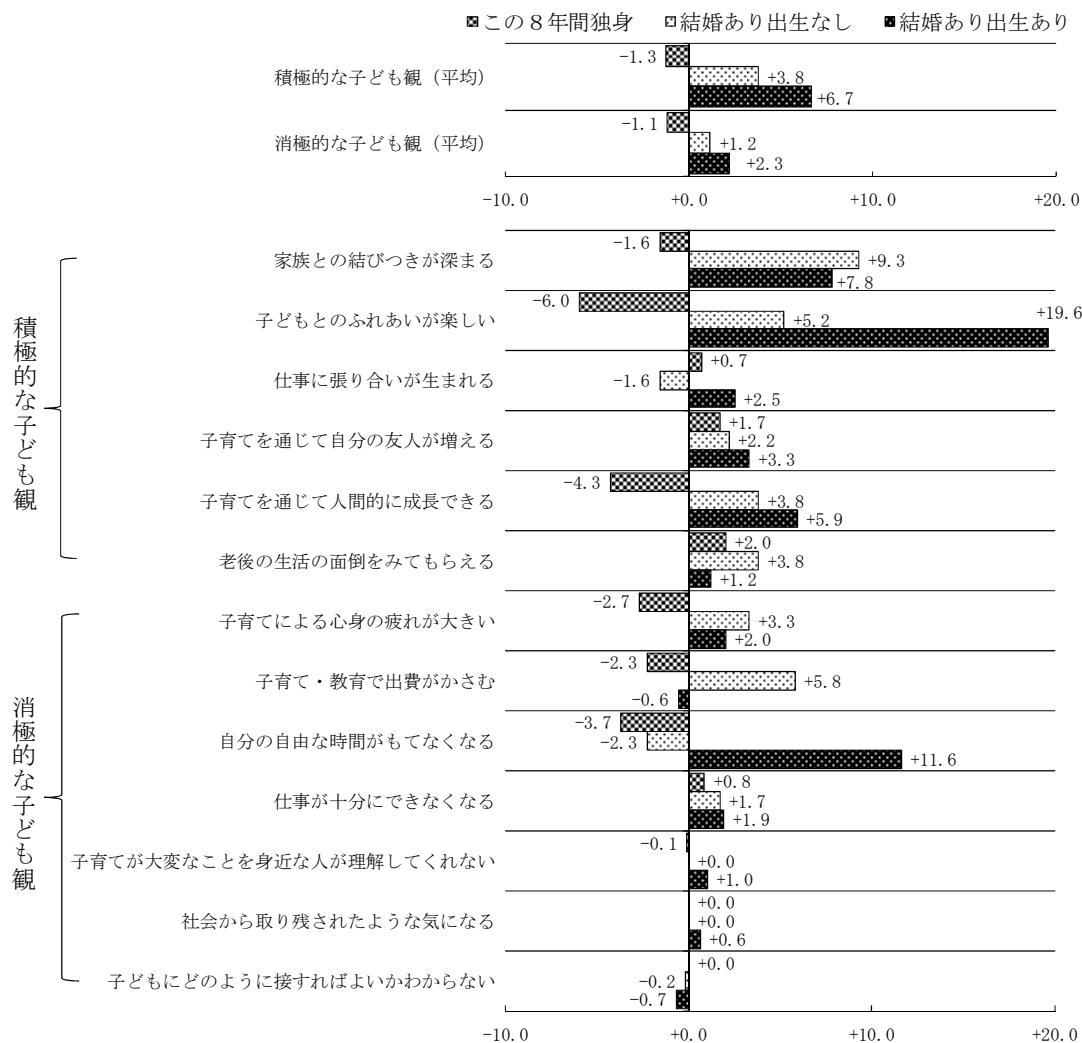
第1回調査（20～34歳）時の独身者のうち、この8年間に結婚や出生があった者は、子どもをもつことに対して「子どもとのふれあいが楽しい」「子育てを通じて自分の友人が増える」と感じる割合が増加している。特に出産を経験した女性では顕著である。

第1回調査時の独身者について、性別、結婚・出生の状況別に第1回から第9回の子ども観の増減をみた。

男性をみると、この8年間独身では積極的・消極的のいずれの子ども観も減少している。一方結婚あり出生なし、結婚あり出生ありではいずれの子ども観も増加している。

さらに、どのように感じているかをみると、結婚あり出生なしでは、「家族との結びつきが深まる」が9.3ポイント増、「子育て・教育で出費がかさむ」が5.8ポイント増となっている。結婚あり出生ありでは、「子どもとのふれあいが楽しい」が19.6ポイント増、「自分の自由な時間がもてなくなる」が11.6ポイント増となっている。（図10）

図10 男性のこの8年間の結婚・出生の状況別にみた  
第1回調査時及び第9回調査時の子ども観（複数回答）の増減

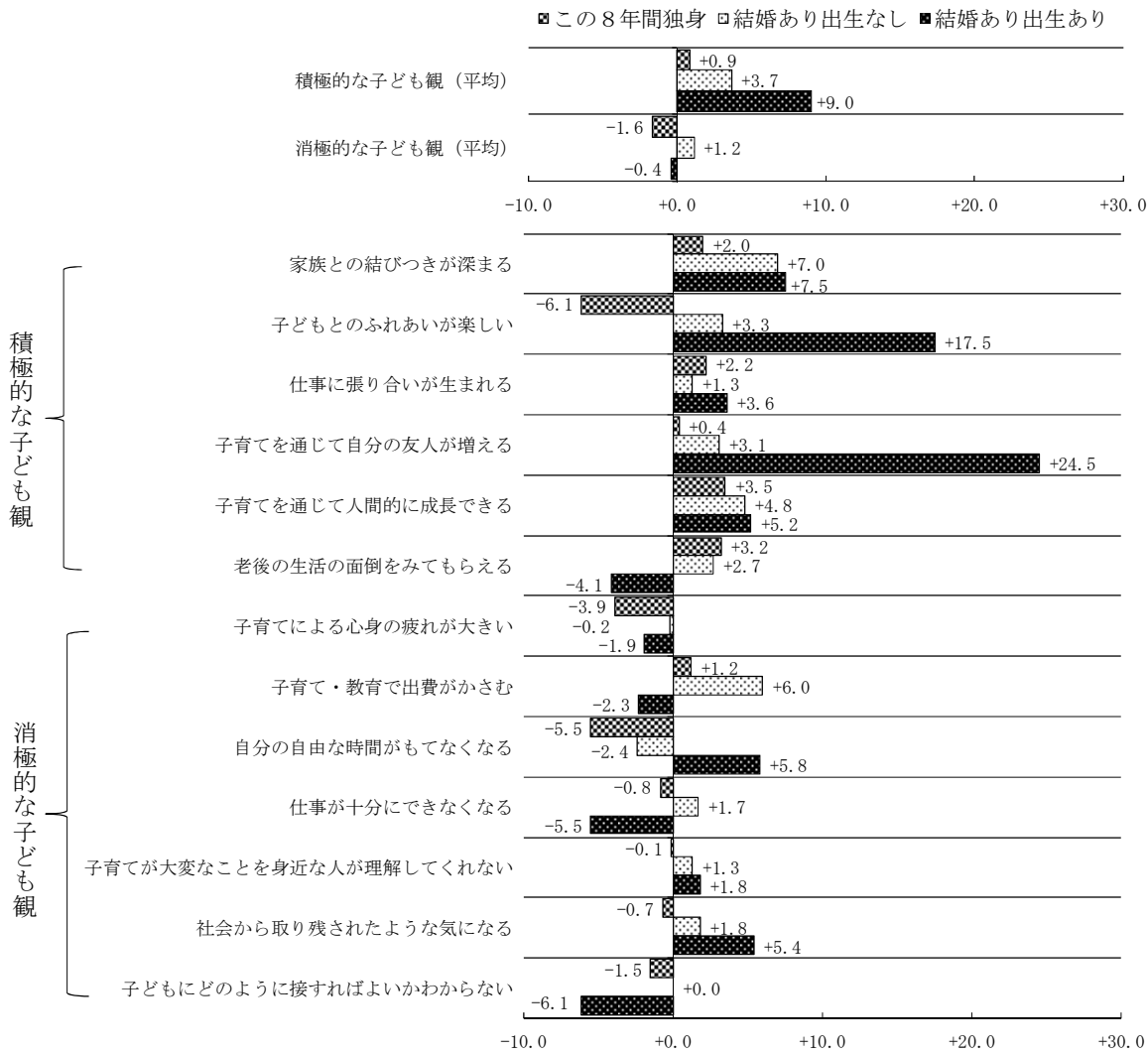


注：1)集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
ただし、「結婚あり」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を含まない。  
2)数値は第9回調査時の数値-第1回調査時の数値として集計した。

女性をみると、この8年間独身では積極的な子ども観が増加し消極的な子ども観は減少している。一方結婚あり出生なしではいずれの子ども観も増加し、結婚あり出生ありでは積極的な子ども観が大幅に増加している。

さらに、どのように感じているかをみると、結婚あり出生ありでは「子育てを通じて自分の友人が増える」が24.5ポイント増、「子どもとのふれあいが楽しい」が17.5ポイント増と大幅に増加している。(図11)

図11 女性のこの8年間の結婚・出生の状況別にみた  
第1回調査時及び第9回調査時の子ども観（複数回答）の増減



注：1)集計対象は、第1回調査時に独身で第9回調査まで回答した者である。  
ただし、「結婚あり」には、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を含まない。  
2)数値は第9回調査時の数値-第1回調査時の数値として集計した。

# 参 考

## 1 集計客体数一覧

### (1) 結果の概要「Ⅰ 結婚の状況」

図表番号	集計対象の条件	客体数		対象となる調査票	
		男	女	男性票	女性票
表1, 図1	第1回調査から第9回調査まで回答した者	4,984	6,039		
表2, 図2	第3回調査時の独身者	2,837	2,962	○	○
表3, 図3	第2回調査時に学校を卒業（または中退）してから仕事についたことがある者（初職の就業継続の状況が不詳の者を除く。）	4,495	5,582		

### (2) 結果の概要「Ⅱ 夫婦における子どもの出生の状況」

図表番号	集計対象の条件	客体数	対象となる調査票			
			男性票	女性票	配偶者票 (男性用)	配偶者票 (女性用)
表4, 図4	夫婦（以下の①または②に該当する夫婦）	3,522				
	① 第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦 ② 第1回調査時に独身で第8回調査までに結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦					
表5	夫婦のうち、出生ありの夫婦から妻の「出生前データ（用語の定義13参照）」が得られていない夫婦を除き、調査対象となってから同居している夫婦	3,161	○	○	○	○
図5	同居している夫婦のうち、子どもが1人以上いる夫婦	2,267				
	この8年間に第2子以降の出生あり	1,074				
	この8年間に第2子以降の出生なし	1,193				

### (3) 結果の概要「Ⅲ 就業の状況（1～3）」

図表番号	集計対象の条件 (第1回調査から第9回調査まで回答した者)	客体数		対象となる調査票	
		男	女	男性票	女性票
表6	第1回調査から第9回調査まで回答した者（第2回調査時に主に通学している者を除く）	4,736	5,838		
図6	第1回調査時に仕事ありで、かつ就業形態が「非正規」の者	493	1,442	○	
表7, 図7	第1回調査時の独身者（結婚した者は、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く）で、この8年間に結婚し、結婚前に仕事ありの女性（就業継続意欲の該当調査回（9頁表7注2参照）に仕事あり以外、及び結婚意欲が絶対したくないの者を除く）		1,273		○
表8, 図8	第2回調査から第6回調査までに育児休業制度を利用し、育児休業制度利用調査回に仕事ありの女性		384		

#### (4) 結果の概要「Ⅲ 就業の状況(4)」

図表番号	集計対象の条件 (「夫婦」の集計対象の条件は、前頁(2)の「夫婦」と同じ)	客体数	対象となる調査票	
			男性票	女性票
表9, 図9	第1回調査時に子どもなしの夫婦、及び出生前調査時に妻が仕事ありの夫婦(就業継続意欲の該当調査回(11頁表9注2参照)に妻が仕事あり以外、及び妻の子どもをもつ意欲が絶対欲しくないの夫婦を除く)	338		○

#### (5) 結果の概要「Ⅳ 子ども観」

図表番号	集計対象の条件 (第1回調査から第9回調査まで回答した者で、第1回調査時の独身者)	客体数		対象となる調査票	
		男	女	男性票	女性票
図10, 図11	この8年間に結婚し、かつこの8年間に出生ありの者(ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く)	485	703	○	○
	この8年間に結婚し、かつこの8年間に出生なしの者(ただし、調査と調査の間に結婚し、かつ離婚した者を除く)	578	756		
	この8年間に結婚していない者	1,979	1,822		

## 2 「1」以外の集計客体数

### (1) 結果の概要「Ⅰ 結婚の状況」

表3 性、年齢階級、初職の就業形態別にみた第9回調査時までの結婚経験の状況

	総数	(再掲) 初職が正規	(再掲) 初職が非正規
男	4 495	3 141	656
女	5 582	4 075	1 066

### (2) 結果の概要「Ⅱ 夫婦における子どもの出生の状況」

表5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の出生の状況

	総数	子どもなし の夫婦	子ども1人 の夫婦	子ども2人以上 の夫婦
総数	3 161	894	989	1 278
家事・育児時間なし	264	143	38	83
2時間未満	1 070	523	186	361
2時間以上4時間未満	639	163	213	263
4時間以上6時間未満	433	24	194	215
6時間以上	660	4	338	318

図5 夫の休日の家事・育児時間別にみたこの8年間の第2子以降の出生の状況

	総数	家事・育児 時間なし	2時間未満	2時間以上 4時間未満	4時間以上 6時間未満	6時間以上
総数	2 267	121	547	476	409	656



### (3) 結果の概要「Ⅲ 就業の状況」

図6 性、年齢階級別にみた第1回調査時に非正規だった者の第9回調査時の就業形態の変化

	総数	20～24歳	25～29歳	30～34歳
男	493	228	154	111
女	1 442	395	452	595

表7 結婚後の就業継続意欲、就業形態別にみた結婚した女性の就業継続の状況

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	1 273	830	359

表9 出産後の就業継続意欲、就業形態別にみた出産した妻の就業継続の状況

	総数	(再掲) 正規	(再掲) 非正規
総数	338	189	128

## 用語の定義

- 1 「**独身者**」または「**独身の者**」とは、「配偶者なし」と回答した者をいい、未婚、離別、死別は区別していない。
- 2 「**夫婦**」とは、第1回調査から第9回調査まで双方が回答した夫婦、または、第1回調査時に独身で第8回調査までに結婚し、結婚後第9回調査まで双方が回答した夫婦である。
- 3 「**結婚した**」及び「**夫婦**」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない者を含む。
- 4 「**結婚経験あり**」とは、第1回調査時に配偶者がいると回答した者、及び第2回調査時以降に結婚したと回答した者をいう。「**結婚経験なし**」とは、第1回調査時から第9回調査時までずっと独身の者をいう。
- 5 「**正規**」、「**非正規**」及び「**自営業等**」は次の就業形態をいう。  
正 規 …… 正規の職員・従業員  
非 正 規 …… アルバイト、パート、労働者派遣事業所の派遣社員、契約社員・嘱託、その他  
※なお、これらの就業形態は、勤め先における呼称を基準としている。  
自 営 業 等 …… 会社などの役員・自営業主、自家営業の手伝い、自宅での賃仕事（内職）
- 6 就業状況の変化とは、調査時点をA時点、B時点（A時点<B時点）としたときの、仕事の有無及び就業形態について比較したものであり、次の変化の状況をいう。  
同一就業継続 …… A時点、B時点において、勤め先、及び就業形態が変わっていないこと、また、自ら行っている事業が変わっていないことをいう。  
転 職 …… B時点で、A時点とは勤め先または就業形態の異なっていることをいう。  
新規就業 …… A時点で仕事なし、B時点で仕事ありのことをいう。  
離 職 …… A時点で仕事あり、B時点で仕事なしのことをいう。  
無職継続 …… A時点で仕事なし、B時点で仕事なしのことをいう。
- 7 「**初職**」とは、学校を卒業（または中退）してから初めてついた所得を伴う仕事のことをいう。
- 8 出生の状況の「**出生あり**」とは、夫婦の双方が回答して以降の出生である。
- 9 「**子どもなし**」とは、「子ども」欄に記入がなかった者をいう。
- 10 「**家事・育児時間**」とは、1日の中で家事や育児に何時間くらい費やしているかを、平日と休日に分けて質問したものである。
- 11 「**第1回調査時**」～「**第9回調査時**」とは、それぞれの回の調査時点で把握した項目である。
- 12 「**結婚前調査時**」「**結婚後調査時**」とは、それぞれ結婚直前、直後の調査時点において把握した状況である。

- 13 「**出生（出産）前調査時**」とは、各年5月までの間に出生があった場合は前々回の調査時点、6月から次の調査までの間に出生があった場合は前回の調査時点において把握した状況とする。  
なお、「**出生前データ**」とは、出生前（出産前）の調査時点で把握した対象者のデータをいう。
- 14 「**出生（出産）後調査時**」とは、出生直後の調査時点において把握した状況である。
- 15 「**育児休業制度利用時**」とは、育児休業制度の利用ありと回答があった調査時点において把握した状況である。
- 16 「**この8年間**」とは、第1回調査から第9回調査までの間のことをいう。また、「**この7年間**」とは、第2回調査から第9回調査までの間、「**この6年間**」とは第3回調査から第9回調査までの間のことをいう。
- 17 「**結婚（出産）後の就業継続意欲**」とは、「結婚（出産）した後も現在の仕事を続けますか。」と質問したものである。
- 18 「**子ども観**」とは、子どもをもつことに対する考え方を質問したものである。